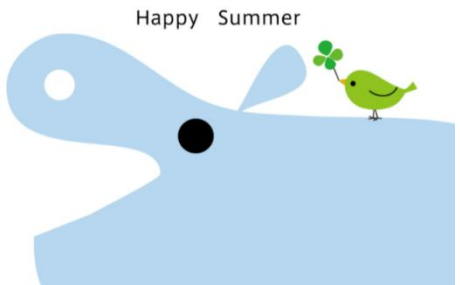




美瑛町そだちの教室通信
8月号
2021年7月15日



早いもので、7月も中旬を迎えました。途中、緊急事態宣言の発出による様々な不自由さもありましたが、1学期のそだちの教室の指導も7月16日で無事に終了することができそうです。この間、面談の延期や他校通級のオンライン指導等、保護者の皆さん、そして関係機関の皆さんにはたくさんのご協力をいただきました。心からお礼申し上げます。



面談ありがとうございました。

6月下旬から面談を再開し、久しぶりに保護者の皆さんとゆっくりお話することができました（一部、今後実施予定の方もいらっしゃいます）。そだちの教室での様子についてお伝えし、また、ご家庭での様子も伺うことができ、実りのある時間となりました。面談の中で確認できたことを参考にして、充実した夏休みを迎えていただきたいと思います。お忙しい中、ありがとうございました。

8・9月 さんの通級予定 日程表

※色のついている日が通級日です。

月	火	水	木	金
16日	17日 2学期始業式	18日 他校通級開始 特別時間割開始	19日	20日
23日	24日	25日	26日	27日
30日	31日	9月1日	2日	3日 振替休業日 (運動会)
6日	7日	8日	9日	10日
13日 4年生休室(ふるさと学習)	14日	15日	16日	17日
20日 敬老の日	21日	22日	23日 秋分の日	24日
27日	28日	29日	30日 他校通級休室 (中部地区研)	

※東小児童は、運動会特別時間割の期間休室になります。そのため、2学期の通級開始は8月30日(月)からになります。

※他校通級は、8月18日(水)から開始します。

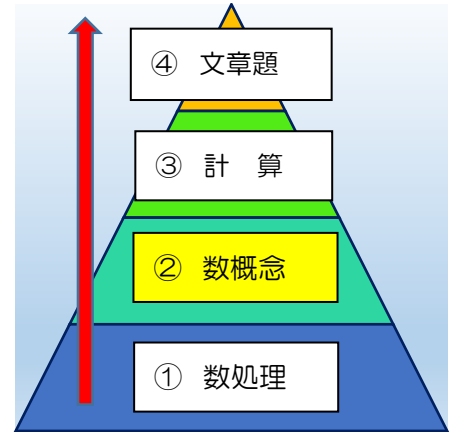
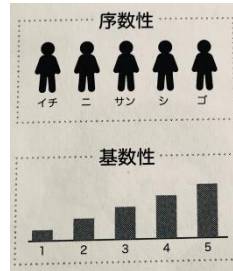
「そだちの教室ってどんなことするの？」④

…通級指導教室での「算数」について…

前回の通信では、算数の学習における土台とも言える「数処理」についてお伝えしました。今回は、その次の段階である「数概念」について紹介していきたいと思います。

「数概念」の序数性と基数性

数には、序数性（順番を表す）と基数性（量を表す）という2つの側面があります。順序立てて考えていく継次処理が得意な子と、全体や部分との関係性を捉える同時処理が得意な子とでは、いずれかがうまく習得されない場合があります。



「数概念」が弱い B さん（およその量がわからない）

この B さんの課題は

- ① 計算式で書いてある計算問題はできるが、数のまとまりを見つけたり、分けたりすることは難しい。
- ② 集合が理解できない。
- ③ 数直線の問題が苦手。



『通常学級で役立つ算数障害の理解と指導法』より 熊谷恵子・山本ゆう 著

B さんは、数字を書くことも数えることも、計算することも問題ありません。しかし、「教室の端から端まで何歩ぐらいで行ける？」と聞いてみると、「100歩!」など、全く見当違いの答えが返ってきます。

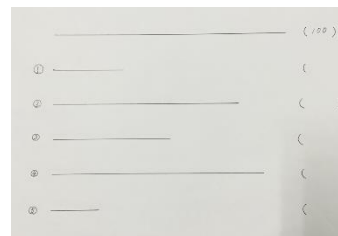
線分図を書いても、線分のどの辺りに指示された数がかかるのかわかりません。また、数直線では、例えば100と200の間に目盛りが4個あると、その目盛りを数えて、180の場所の目盛りを104としてしまいます。

このような B さんは、機械的な手続きに従って行う計算には一見、問題はありません。そのため、算数における問題が見えづらいこともしばしばです。しかし、学年が上がり、2倍、3倍と数が増えることをイメージしたり、およその数を考えたり、高学年になって「量と割合」の単元につまずきが現れるなど問題がはっきりと見えてくるようになります。

「数概念（基数性）の弱さ」には…

基数性の学習の一部を紹介します。下図は、大きなまとまり（連続した量の）線の長さを、子どもたちにとってわかりやすいシール（分離した量）に置き換えていく活動をさせるものです。

- ① 初めに線分（連続した長さ）を見せる。
- ② モデルを見せる（右図の最上段）。
- ③ モデルを見ながら、線の上になん個シールを貼ることができるか予想する。
- ④ 実際にシールを貼って、何個貼ることができたか数える。
- ⑤ 予想した数とシールの数から明らかになった数とを比較する。



シールが貼られる前のプリント

この最上段がモデルになります。10個シールをはると100になる!



シールが貼られた後のプリント